

9 月度 <b>例会</b> 山行報告書		報告者	根芝	参加 メンバー	CL: 松浦 SL: 天野、吉田 (有)、田口、中尾、春口、山 口、谷川、伊藤、小栗、石川、 根芝、津田、部外者 3 名
個人		報告日	10/8 (水)		
山 域	北アルプス	山行日	14 年 09 月 26 日 (金) ~		
山 名	白馬三山		14 年 09 月 28 日 (日)		

山行目的	紅葉の白馬三山と鍾温泉を満喫する	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	------------------	--------------------

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集  
会担当者



9/26(金) 晴れ  
7:45 猿倉荘発  
8:50 白馬尻小屋  
10:30 大雪渓  
11:45 岩室跡  
13:50 頂上宿舎(テ泊)

9/27(土) 晴れ  
4:45 頂上宿舎発  
5:15 白馬岳山頂  
7:00 頂上宿舎(テント撤収)  
8:10 杓子岳  
9:25 白馬鍾ヶ岳  
11:00 鍾温泉小屋分岐  
12:10 白馬鍾温泉小屋  
(テ泊)

9/28  
7:45 鍾温泉小屋発  
11:15 猿倉荘



〈山行報告〉1年前、唐松岳～五竜岳の帰りの温泉で白馬三山と鍾温泉にみんなで行こうと計画し、1年越しの計画をやっと遂行することが出来た。この山行だけは絶対に晴れて欲しいと願い続けた結果、3日間すべての工程でピーカンの晴れとなった。1日目、白馬尻小屋からの紅葉が綺麗で小休憩のつもりが早くも大休憩となり、皆白馬の絶景に釘付けとなった。大雪渓は9月末ということあり、半分ほどは夏道。後半はしっかりと雪が残っていたが、全員軽アイゼン無しで登りきる。しばらく歩くと頂上宿舎が見えた。宿舎で生ビールを楽しみに頑張ったが、残念な事に頂上宿舎も白馬山荘も売店の営業は期間外となっており、生ビールはおあずけ～泣。テント設営後に宿舎への荷上げヘリが来ると知らされ、ヘリが来るたびに全員でテントが飛ばされないように護衛したが、強烈な風にV8のポールをへし曲げられた。他の客のテントは無残にも飛ばされ、へし折れ、破れていた。テント設営して白馬岳山頂に行っていたら全滅だったのである。準備を済ませ、天然の石を椅子として円になり皆で宴会開始！しばらくして夕陽を見ようと稜線まで出ると見事な雲海と夕陽！思わず全員で「凄い～！」と叫ぶ。こんな綺麗な夕陽を見たのは初めてだ。すごく感動！その後、テントに戻りV8テントに14名詰め込み、夕食の鍋とお酒で大宴会し明日の鍾温泉を楽しみに就寝。2日目、今日も晴天！ご来光に合わせて起床し白馬岳山頂を目指した。山頂でこれまた最高の雲海とご来光を見ることができ、皆で感動を分かち合いながらしばし絶景を目に焼き付ける。その後、テントに戻りテント撤収後杓子岳に向け歩きだす。杓子岳のザレた急登に苦戦しながらも無事に杓子岳登頂。写真を撮り、次の白馬鍾ヶ岳を目指す。アップダウンを繰り返して白馬鍾ヶ岳に到着。写真を撮り、2日目の寝床の鍾温泉を目指す。テント確保のため、田口、谷川の2名

が先発隊で出発、3時間ほど急に下ると鍾温泉小屋が見える。鍾温泉で関東の女性を合流し早速温泉へ！「熱い！熱い！」でも最高に気持ちいい！みんなでビールを持ち込みなんと3時間ほど温泉で大宴会！笑。テントで食事後、暗くなってもランタンとヘッドランプで再度温泉に行く人、ご来光に合わせて早朝から温泉に入る人など皆それぞれ鍾温泉を満喫していた。3日目、関東の女性は逆ルートで3山縦走のため鍾温泉で分かれ、下山開始。紅葉に染まる山中を気持ちよく歩き、無事に猿倉荘に戻った。



白馬岳山頂より

確認  
(リーダー)  
松  
14/10/07  
浦  
作成  
(報告者)  
松  
14/10/07  
浦

〈リーダー所見〉  
山岳部メンバーに部外者3名を迎え、楽しそうなメンバーが集った。3日間本当に晴天に恵まれ、紅葉、雲海、夕陽、朝日、温泉、仲間。これ以上ないと思える山行となった。参加したメンバー全員に「最高に良かった！楽しかった！ありがとう」と言ってもらえる事ができ、計画して良かったと思うし、やっぱり山は素晴らしい♪最高だな～って思う事が出来た。来年もまた鍾温泉行きたいですね！本当にみんなありがとう♪